



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月3日

上場会社名 セーレン株式会社

上場取引所 東

コード番号 3569 URL <https://www.seiren.com>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 川田 達男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長 (氏名) 勝木 知文

TEL 0776-35-2111

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	32,508	5.2	2,908	0.5	3,973	6.9	3,121	15.3
2023年3月期第1四半期	30,899	12.6	2,924	10.4	3,715	9.9	2,707	10.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,069百万円 (27.9%) 2023年3月期第1四半期 7,034百万円 (40.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	58.27	50.07
2023年3月期第1四半期	50.41	43.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	170,940	109,617	63.4	2,021.49
2023年3月期	167,795	105,785	62.3	1,951.14

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 108,376百万円 2023年3月期 104,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		23.00		23.00	46.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		23.00		23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	135,000	2.0	13,000	1.3	13,800	10.1	10,200	7.5	190.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	64,633,646 株	2023年3月期	64,633,646 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	11,021,427 株	2023年3月期	11,070,927 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	53,575,094 株	2023年3月期1Q	53,720,737 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	10
(継続企業の前提に関する注記).....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	10
(セグメント情報等).....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変わり、経済社会活動の正常化の動きが見られたものの、エネルギー及び原材料価格の高騰や急激な為替の変動等により、依然として先行き不透明な状況となりました。

このような厳しい経営環境においても、当社グループは、中期方針「未知の可能性への挑戦！」に基づき、変化し続けるお客様ニーズに応え、安定した収益確保と継続的な成長を果たすため、“イノベーションと顧客開発”及び“企業体質の再建”を柱とした事業戦略を推進しております。併せて、企業の潜在力である人材力、開発力、環境対応力を高める経営を継続し、企業体質の強化に取り組んでおります。

当第1四半期の連結業績は、売上高 325 億 8 百万円（前年同期比 5.2%増）、営業利益 29 億 8 百万円（同 0.5%減）、経常利益 39 億 73 百万円（同 6.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 31 億 21 百万円（同 15.3%増）となり、売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は第1四半期として過去最高となりました。

[セグメント別の業績概況]

(車輛資材事業)

国内事業は、世界的な半導体不足の緩和や前年の上海ロックダウンによるサプライチェーン混乱からの反動により回復しました。エネルギー及び原材料価格の高騰があったものの、為替の影響や業務の効率化をはじめとする経費削減活動により増収・増益となりました。

海外事業（2023 年 1～3 月）では、半導体不足や原材料価格・輸送費の高騰が落ち着くとともに、カーシートの新規商権立ち上げがあったものの、中国における日系メーカーの販売不振の影響を大きく受け、減収・減益となりました。

車輛資材事業全体では、国内事業の回復がけん引し増収・増益となりました。

当事業の売上高は 204 億 63 百万円（前年同期比 11.8%増）、営業利益 21 億 15 百万円（同 6.2%増）となりました。

(ハイファッション事業)

アパレル業界において環境に配慮したモノづくりへの関心が高まるなか、当社は差別化商品を小ロット・短納期・在庫レスで製造する独自の「Viscotecs®」を活用したビジネスモデルの展開に加え、リサイクル素材や生分解性素材の開発・製造を進めております。ファッションアパレルは、一部百貨店ブランドにおいてコロナ禍からの回復が見られたものの、スポーツ、インナー含めアパレルはいずれも苦戦を強いられました。一方、KBセーレン(株)において海外向けスポーツ衣料用「ベルトロン」が底堅く推移したとともに、Saha Seiren Co., Ltd.においてアパレル事業の構造改善を行ったことにより、ハイファッション事業全体では増収・増益となりました。

当事業の売上高は52億38百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益 1 億 99 百万円（同 2 億 28 百万円増）となりました。

(エレクトロニクス事業)

ゲーム機関連の新規商材が順調に推移したものの、スマートフォン向け商材の売上が減少しました。KBセーレン(株)においては、海外向け帯電防止カーペット用「ベルトロン」やケーブル用エンブラ繊維が伸び悩みました。その他、中国において世聯電子（蘇州）有限公司が客先休業の影響で受注が減少し、エレクトロニクス事業全体では減収・減益となりました。

当事業の売上高は 24 億 76 百万円（前年同期比 18.5%減）、営業利益は 3 億 92 百万円（同 39.0%減）となりました。

(環境・生活資材事業)

ハウジング資材関連は環境対応商材が好調に推移したものの、戸建て住宅着工戸数減少の影響を受け、売上が減少しました。また、住生活資材関連は防護服等の特殊衣料が好調となった一方で、コロナ禍において一時的に需要が高まった病院・介護向け製品の売上が伸び悩みました。

当事業の売上高は23億46百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は2億72百万円（同4.7%減）となりました。

(メディカル事業)

サポーター等の健康・医療資材が堅調に推移したとともに、KBセーレン(株)の逆浸透膜スペーサー部材「ベルカップル」の需要が伸びたものの、化粧品、医療システム及びKBセーレン(株)の貼付材の売上が減少したことにより、減収となりました。また、利益面ではエネルギー及び原材料価格高騰の影響が大きく、減益となりました。

当事業の売上高は17億65百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は1億60百万円（同37.4%減）となりました。

(その他の事業)

(株)ナゴヤセーレンの不動産賃貸管理事業が堅調に推移したものの、セーレン商事(株)の保険代理業が好調であった前年同期の反動減となりました。

当事業の売上高は2億18百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は1億6百万円（同22.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して31億44百万円増加の1,709億40百万円となりました。流動資産は、現金及び預金やその他の流動資産の増加により、前連結会計年度末と比較して22億46百万円の増加となりました。固定資産は、設備投資や、海外子会社の財務諸表の換算レートが円安になったことにより有形固定資産が増加し、前連結会計年度末と比較して8億98百万円増加しました。負債の部は、借入金の返済などにより、6億87百万円減少し、613億22百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の変動や、利益剰余金の増加などにより、全体で38億31百万円増加し、1,096億17百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は348億5百万円となり、前連結会計年度末より6億63百万円増加しました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、35億77百万円の収入（前年第1四半期連結累計期間は17億10百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益39億87百万円、減価償却費12億43百万円などによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、20億11百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は25億75百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出11億5百万円、定期預金の増加8億98百万円などによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、15億26百万円の支出（前年第1四半期連結累計期間は15億62百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払による支出12億31百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、第2四半期連結累計期間については車輛資材事業の国内事業が回復していることや為替レートが円安に推移するなどのプラス要因がある一方で、下期以降については世界的なインフレや中国景気の減速、為替動向等、先行き不透明な要素が多いことから、2023年5月15日に公表いたしました連結業績予想を据え置きます。

なお、第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、短期的に業績見直しを変更することが、かえって株式市場の混乱を招く恐れがあると判断し、今後は通期予想のみの開示といたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,782	40,344
受取手形、売掛金及び契約資産	33,075	32,716
有価証券	1,091	1,410
商品及び製品	13,618	13,275
仕掛品	4,313	3,896
原材料及び貯蔵品	7,291	7,613
その他	2,912	4,075
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	101,068	103,314
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,780	22,272
機械装置及び運搬具（純額）	11,718	11,703
工具、器具及び備品（純額）	489	493
土地	12,778	12,864
リース資産	36	25
建設仮勘定	6,363	7,078
有形固定資産合計	54,167	54,436
無形固定資産		
のれん	638	597
その他	2,464	3,042
無形固定資産合計	3,102	3,640
投資その他の資産		
その他	9,562	9,655
貸倒引当金	△106	△106
投資その他の資産合計	9,456	9,548
固定資産合計	66,726	67,625
資産合計	167,795	170,940
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,450	17,287
短期借入金	2,061	3,041
未払法人税等	1,702	1,084
賞与引当金	1,375	569
その他	7,717	8,835
流動負債合計	30,307	30,820
固定負債		
新株予約権付社債	15,240	15,217
長期借入金	8,563	7,306
役員退職慰労引当金	119	119
退職給付に係る負債	6,632	6,681
その他	1,146	1,177
固定負債合計	31,701	30,502
負債合計	62,009	61,322

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,520	17,520
資本剰余金	16,807	16,801
利益剰余金	75,669	77,559
自己株式	△14,830	△14,762
株主資本合計	95,167	97,117
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,953	3,363
為替換算調整勘定	6,303	7,816
退職給付に係る調整累計額	84	78
その他の包括利益累計額合計	9,341	11,258
新株予約権	567	506
非支配株主持分	709	734
純資産合計	105,785	109,617
負債純資産合計	167,795	170,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	30,899	32,508
売上原価	22,322	23,817
売上総利益	8,576	8,691
販売費及び一般管理費	5,652	5,782
営業利益	2,924	2,908
営業外収益		
受取利息	70	165
受取配当金	75	86
為替差益	504	381
雇用調整助成金	8	—
補助金収入	109	369
その他	52	73
営業外収益合計	820	1,076
営業外費用		
支払利息	8	4
その他	20	7
営業外費用合計	28	12
経常利益	3,715	3,973
特別利益		
固定資産売却益	0	15
特別利益合計	0	15
特別損失		
固定資産処分損	0	1
特別損失合計	0	1
税金等調整前四半期純利益	3,715	3,987
法人税等	992	847
四半期純利益	2,722	3,139
非支配株主に帰属する四半期純利益	14	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,707	3,121

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,722	3,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	50	409
為替換算調整勘定	4,265	1,525
退職給付に係る調整額	△4	△5
その他の包括利益合計	4,311	1,929
四半期包括利益	7,034	5,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,987	5,039
非支配株主に係る四半期包括利益	46	29

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,715	3,987
減価償却費	1,225	1,243
固定資産処分損益 (△は益)	0	△13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△740	△805
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	18	41
受取利息及び受取配当金	△146	△251
支払利息	8	4
為替差損益 (△は益)	△474	△586
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,802	990
棚卸資産の増減額 (△は増加)	47	978
仕入債務の増減額 (△は減少)	487	△554
未払消費税等の増減額 (△は減少)	87	△103
その他	390	△238
小計	2,816	4,691
利息及び配当金の受取額	117	229
利息の支払額	△10	△5
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,212	△1,338
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,710	3,577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,994	△1,105
有形固定資産の売却による収入	0	15
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△14	△14
定期預金の純増減額 (△は増加)	443	△898
その他	△10	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,575	△2,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△463	△276
配当金の支払額	△1,073	△1,231
非支配株主への配当金の支払額	△2	△5
その他	△22	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,562	△1,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,290	624
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,137	663
現金及び現金同等物の期首残高	35,451	34,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,314	34,805

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	18,302	5,174	3,039	2,380	1,776	30,674	94	30,768	—	30,768
その他の収益	—	—	—	—	—	—	130	130	—	130
外部顧客への 売上高	18,302	5,174	3,039	2,380	1,776	30,674	225	30,899	—	30,899
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	9	67	3	2	83	141	224	△224	—
計	18,302	5,183	3,107	2,384	1,779	30,757	366	31,124	△224	30,899
セグメント利益又は損失 (△)	1,991	△29	643	285	257	3,147	137	3,284	△360	2,924

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント(注)1						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	車両資材	ハイファ ッション	エレクト ロニクス	環境・ 生活資材	メディカル	計				
売上高										
顧客との契約から生じ る収益	20,463	5,238	2,476	2,346	1,765	32,290	84	32,374	—	32,374
その他の収益	—	—	—	—	—	—	134	134	—	134
外部顧客への 売上高	20,463	5,238	2,476	2,346	1,765	32,290	218	32,508	—	32,508
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	16	28	5	3	53	151	205	△205	—
計	20,463	5,255	2,504	2,351	1,769	32,344	370	32,714	△205	32,508
セグメント利益	2,115	199	392	272	160	3,139	106	3,246	△337	2,908

(注) 1. 各報告セグメント区分の主な製品等は下記のとおりであります。

- (1) 車両資材……………自動車・鉄道車両等内装材(シート材、エアバッグ、加飾部品)
- (2) ハイファッション……………各種衣料製品、衣料用繊維加工
- (3) エレクトロニクス……………導電性素材、工業用ワイピングクロス、ビスコテックス・システム及びサブ
ライ、電子機器、シリコンウエーハの成膜加工等、人工衛星
- (4) 環境・生活資材……………建築用資材、インテリア用資材、健康・介護商品、環境・土木資材
- (5) メディカル……………医療用資材、化粧品、水処理用資材

なお、「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの開発及び販
売、保険代理業、人材派遣事業、不動産賃貸管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用(前第1四半期連
結累計期間374百万円、当第1四半期連結累計期間348百万円)が含まれております。全社費用は、主に報告セ
グメントに帰属しない総務部門などの管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。